

周波数再編に伴う電波送受信障害発生時の調査ツール

◇TVホワイトスペース(700MHz帯)及び特定ラジオマイク・FPU(1.2/2.3GHz帯)の周波数移行に伴うサイトサーベイ

[アプリケーション ~*Application*~]

周波数再編に伴う電波送・受信障害発生時の調査・探索ツールとして、リアルタイム・スペクトラムアナライザを活用した事例をご紹介します。
従来の掃引方式のスペアナでは捕捉できなかった、非常に間欠的なノイズも測定することができます。

【下記のような用途に最適 ~リアルタイムスペアナのメリット~】

- ・被干渉波測定 → 未知なる干渉源の特定
- ・与干渉波測定 → 変調信号(バースト波)を確実に捉える
- ・テレビ用ブースターの飽和による障害(相互変調歪、混変調)
- ・特定ラジオマイク帯域の渉外調整
- ・MCA、電子タグ(RFID)システムの設置前後におけるサイトサーベイ

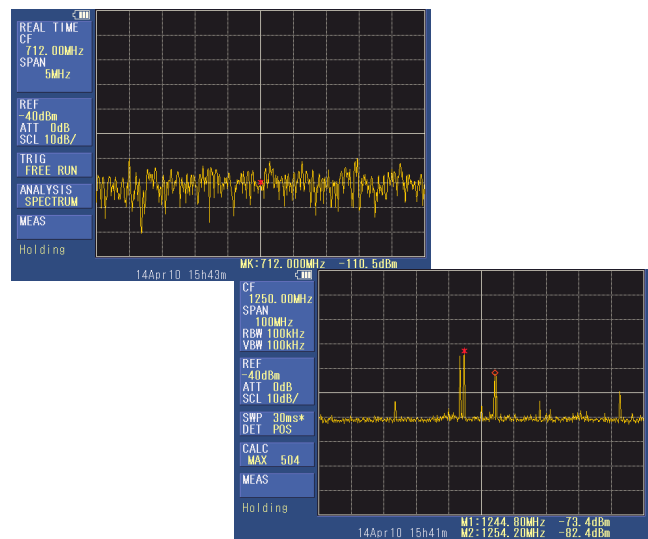
ハンディスペアナで
リアルタイム方式と掃引方式の
両方(ハイブリッド)を採用しているのは
マイクロニクスだけ!

[ソリューション ~*Solution*~]

■ ハンディ型シグナルアナライザ (リアルタイム・スペクトラムアナライザ)

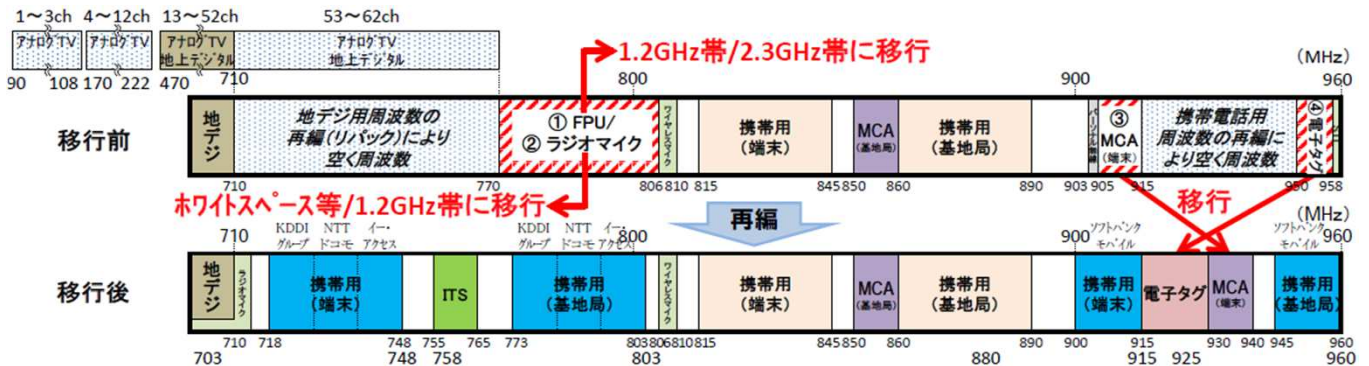
MSA538 : 測定周波数範囲 20kHz~3.3GHz

MSA558 : 測定周波数範囲 20kHz~8.5GHz



Youtubeにリアルタイム・スペクトラムアナライザと掃引型スペクトラムアナライザの違いを掲載しております。
<http://youtu.be/bw4fsyl2JCc>

※ 総務省作成の周波数再編アクションプランによる



[システム構成・価格 ~*System constitution & Price*~]

・3.3GHz ハンディ型シグナルアナライザ MSA538 ¥ 748,000

・8.5GHz ハンディ型シグナルアナライザ MSA558 ¥ 1,130,000

※バッテリー、アンテナ、ケーブル、制御ソフトウェア 各種取り揃えております。

※詳細は弊社営業担当までお問合せ下さい。

※価格は全て税抜き表示です。

2014/9